

# 石川県七尾美術館だより

平成13年7月7日発行  
編集・発行 石川県七尾美術館

## 第26号(夏号)



ISHIKAWA  
NANAO  
ART MUSEUM

長谷川等伯シリーズ  
「長谷川派の絵師たち」より

### 竹虎図襖(部分)

長谷川派 筆

桃山時代(16~17世紀)

各 縦182.4×横140.0

京都 永観堂禅林寺 蔵



# 展覧会紹介

平成十三年七月七日(土)～

九月二十四日(月・振休)

休館日については裏表紙をご覧ください

長谷川等伯シリーズ

## 「長谷川派の絵師たち」

八月二十五日(土)～九月二十四日(月・振休)  
〔会期中無休〕

### 第一・第二展示室

長谷川等伯(一五三九～一六一〇)は能登国七尾出身で、桃山時代に大活躍した画人です。戦国時代も終わり頃の天文八年に七尾で生まれ、三十歳過ぎまで能登周辺で仏画や肖像画などを描いていたといわれます。やがて上洛し、京都を舞台に制作活動を始め、多くの優れた作品を描きました。現在、長谷川等伯は桃山時代の美術を語る上では欠かせない存在となっています。

さて、長谷川等伯の下には息子や弟子といった、多くの門人達が存在したといわれています。寺院や大名屋敷などを始めとした大建築の襖絵や障壁画などの制作には、等伯を筆頭とした長谷川派一門が結集してその任に当たりました。等伯の代表作である『祥雲寺障壁画』(国宝・現 智積院所蔵)なども、それぞれの場面を一門で分担して制作しています。ですから、「長谷川派」には等伯



「達磨図」長谷川左近 筆  
個人蔵

に続いて優れた技量を持った門人達が、大勢活躍していたとみられます。

毎年長谷川等伯の作品を紹介してきました「長谷川等伯シリーズ」ですが、六回目となる今回はやや趣きを変更し、この「長谷川派」に焦点を当て、息子や弟子達の作品を中心に計十二点の作品を展覧いたします。

それぞれに卓越した才能を発揮し、等伯の跡を担った門人達の作品を、是非この機会に多くの方々にご鑑賞頂きたいと思っております。



「涅槃図」長谷川等誓 筆  
山田寺蔵

### 【等伯の息子たち】

等伯には久蔵(一五六八～九三三)、宗宅(一六一一～一五九〇)、左近(一五九三?)の四人の実子がいたとされ、久蔵と宗宅は先妻・妙浄の子で宗也と左近は後妻・妙清の子と推定されています。

各人の現存作品からは四人とも等伯の筆法を継承しながらも、それぞれ独自性を持ち合わせ、個性を発揮しています。今回はその四人の実子の内、

次男で等伯の死後「法橋」に叙任し、等伯の後継者となった宗宅と、四男で宗宅死後に「自雪舟六代」を自称し、等伯の後継者たらんとした左近の作品を紹介します。

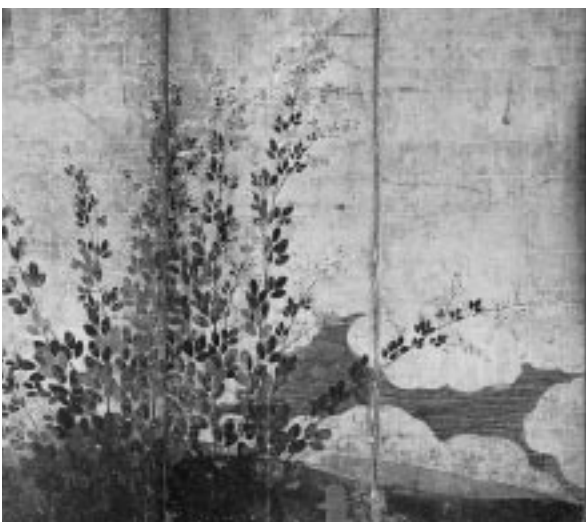
### 【等伯の弟子たち】

等伯の弟子については主殿・信吉・等胤・宗圓など幾人かの名前が知られています。しかしながら、記録類が少なく各人の詳細な経歴等についてはよく分かっていません。

しかし現在、作者は不明ですが、明らかに長谷川派の作風になる作品が多く伝わっており、これらの作品については等伯の弟子達など「長谷川派」の画家が描いたとされています。

今回は、その弟子達の制作とされている「長谷川派」の作品を紹介します。

また、等伯との関係などは不明ですが、その影響下にあつたと思われる、能登七尾周辺で活躍したとされている長谷川等誓(一六三六)の作品も併せて紹介します。



「秋草図屏風」(部分) 長谷川宗宅筆 南禅寺蔵

出品予定作品（…重美 ……泉文）

『達磨図』 長谷川信春等伯筆

紙本墨画 一幅 石川・龍門寺蔵

『愛宕権現図』 長谷川信春等伯筆

絹本着色 一幅 石川・当館蔵

『祇園会図』 伝長谷川久蔵筆

紙本着色 一幅 石川県立美術館蔵

『柳橋図屏風』 長谷川宗宅筆

紙本金地著色 六曲一隻 群馬県立近代美術館蔵

『秋草図屏風』 長谷川宗宅筆

紙本金地著色 六曲一隻 京都・南禅寺蔵

『十六羅漢図』 長谷川左近筆

紙本墨画 六幅十二幅内 石川・大乘寺蔵

『達磨図』 長谷川左近筆

紙本着色 一幅 石川・個人蔵

『涅槃図』 長谷川等普筆

紙本着色 一幅 石川・山田寺蔵

『十六羅漢図』 長谷川等普筆

紙本淡彩 二幅四幅内 石川・個人蔵

『竹虎図襖』 長谷川派筆

紙本金地著色 四面八面内 京都・永観堂禅林寺蔵

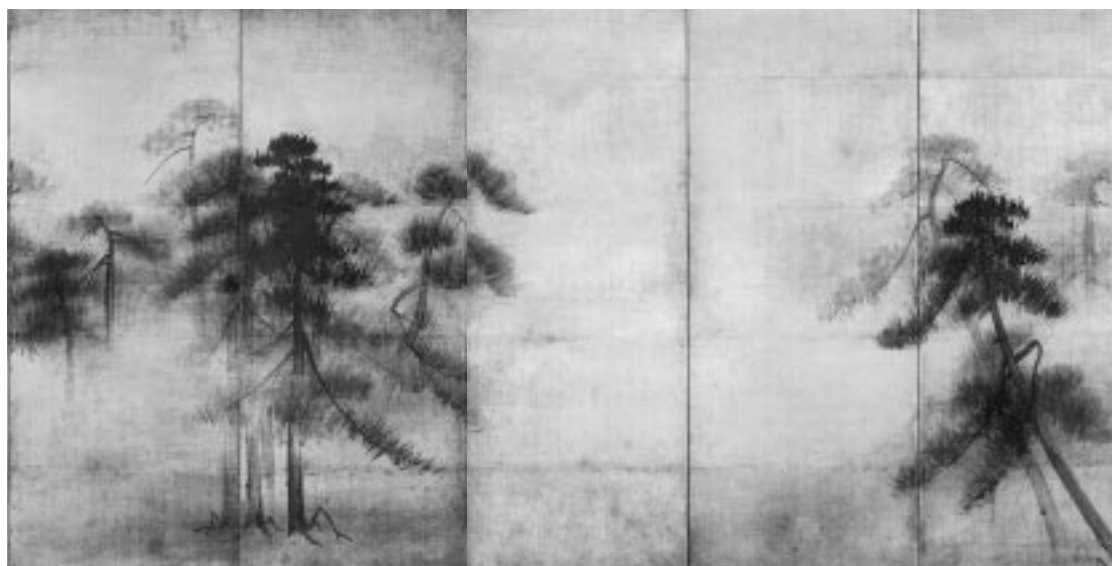
『山杉図屏風』 長谷川派筆

紙本金地著色 六曲二双 京都・永観堂禅林寺蔵

『月下松林図屏風』 長谷川派筆

紙本墨画 六曲二双 東京・個人蔵

本展会期中の九月十五日（土・祝）、石川県立歴史博物館副館長・北春千代氏による記念講演会を開催いたします。詳しくは六ページをご覧ください。



『月下松林図屏風』（右隻・部分）長谷川派筆 個人蔵

最近発見された作品です。等伯の代表作『松林図屏風』（国宝）とつり二つの作風ですが、左隻には月が描かれている点が異なります。長谷川派のいずれかの絵師によって描かれたのではないかと推定されています。

共通観覧料

	個人	団体
一般	700円	600円
大高生	350円	300円

中学生以下無料・団体は二十名以上です。「秋の所蔵品展」と共通料金です。

「秋の所蔵品展」

作家たちの様々な表現

第三展示室

石川県ゆかりの作家作品から、日本画四点・洋画十三点・工芸二点の計十九点を紹介します。作家たちの様々な表現をお楽しみください。

《出品作家》

勝本富士雄・佐々波啓子・白尾勇次・田辺栄次郎・寺井重三・中村静勇・西房浩二・八野田博・端名清・前田さなみ  
上田珪草・水道秋聖・山本隆  
番浦省吾・百貫俊夫



「セレナーデ（ ）」 中村静勇



# 「夏の優品展」

七月七日(土)～八月十九日(日)  
 「第六十回港まつり協賛」

## 第一展示室

### 池田コレクションを中心に

七尾市名誉市民である故池田文夫氏が生前収集した美術品は当館所蔵品の中核を成し、「池田コレクション」として親しまれています。

コレクションの大半は、氏が岐阜県大垣市に在住していたことから、岐阜県にゆかりの深い近代日本画や美濃焼などが多く含まれています。

今回はそれらの優品の中から、重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品を含む日本画七点・工芸十六点・彫塑四点を展示・紹介します。



「木彫太公望」平櫛田中



「太平記 大森彦七物語」



「西風の吹く頃」西房浩二

## 第二展示室

### それぞれの四季

日本には「四季」という素晴らしい自然からの恵みがあり、豊かな農作物を育んでくれるだけでなく、自然を愛する心をも我々に与えてくれます。本展では、日々移り変わる季節の表情を敏感に感じとり、その一瞬一瞬を表現した現代作家の力作十三点を始め、八月一日～十日に行われる木彫講座に合わせて彫刻作品も紹介します。

### 観覧料

	一般	個人	団体
大高生	280円	350円	280円
			220円

中学生以下無料・団体は二十名以上です。  
 「モントレー・ジャズ・フェスティバル・ポスター展」と共通料金です。

## 第三展示室

### 「モントレー・ジャズ・フェスティバル」ポスター展

七月二十四日(火)～八月十二日(日)

七尾市の姉妹都市であるアメリカ・モントレー市は、同じくアメリカのニューポート、スイスのモントルと並んで「世界三大ジャズフェスティバル」の開催地として知られる有名な都市です。

当館では今年も、そのモントレー市より七尾市・和倉温泉旅館協同組合に友好の記念として贈られた同祭ポスターを、和倉温泉で七月二十八日(土)に開催される「モントレー・ジャズ・フェスティバル(MJF) in 能登」に合わせて展示します。リトグラフによって色鮮やかに表現された貴重なポスターをお楽しみください。観覧料は「夏の優品展」と共通料金です。



昨年の展覧会風景

# 市民ギャラリー 展覧会案内

## 第六回七尾日創展

七月十二日(木)～十五日(日)  
 但し、初日は午後二時から  
 最終日は午後三時まで

公募による日本画を中心とした絵画作品約六十点を展示します。若手作家の生き生きとした作品から、ベテラン作家の味わいある作品まで、個性あふれる表現をお楽しみください。

入場料 無料  
 主催 日創会 代表 丹羽俊夫  
 共催 北國新聞社  
 後援 石川県・石川県教育委員会・七尾市教育委員会・能登島町教育委員会・鹿島町教育委員会・NHK金沢放送局・北陸放送・テレビ金沢・ラジオななお  
 協賛 金城大学  
 連絡先 三宅厚史  
 ☎〇七六七(七七)一三六八



## 七尾市文化協会設立十周年記念事業 日韓親善(七尾市・金泉市) 美術交流展覧会

併催 第六十回港まつり協賛  
 第七回七尾美術作家協会展  
 七月十九日(木)～二十二日(日)  
 但し、初日は午前十時から  
 最終日は午後五時まで  
 (入館は四時三十分まで)

二十六年にわたり姉妹都市提携を結んできた金泉市から、二十二名の作家を招待しての三十名の招待作品と、地元七尾美術作家協会全会員七十二名の作品の計百二点による日韓親善美術交流展です。ご高覧ください。

入場料 無料  
 主催 七尾市文化協会  
 共催 七尾市・七尾市教育委員会  
 主管 七尾美術作家協会  
 後援 北國新聞社・七尾商工会議所・ラジオななお・テレビ金沢・NHK七尾美術作家協会事務局長  
 連絡先 木本香泉  
 ☎〇七六七(五二)四〇一一

## 第十一回彩虹画展

八月十七日(金)～十九日(日)  
 但し、最終日は午後四時まで

能登で活躍する洋画四団体の合同展で、七尾市の彩の会・グループ虹・英の会と志賀町の画好会を合わせた会員約五十人が大作から小品まで五十～六十点の近作を展示発表します。

入場料 無料  
 主催 洋画グループ彩虹画会  
 後援 七尾市教育委員会・七尾市文化協会  
 北國新聞社・七尾美術作家協会  
 連絡先 加地 求  
 ☎〇七六七(五二)一六一三



## アートホール催し案内

### 第二十二回等伯まつり

八月二十四日(金)  
開演 午後一時〜

・等伯顕彰セレモニー 午後一時〜二時  
・記念講演会『夢追いびと等伯』  
講師 森 英一氏(金沢大学教授)  
午後二時〜三時

入場料 無料  
主催 等伯会

連絡先 七尾美術館内「等伯会」事務局  
☎〇七六七(五三)一五〇〇

### メロデュー音楽会

九月二日(日)

開場 午後一時〜  
開演 午後一時三十分〜

松本由美子門下生によるピアノ・エレクトーンの発表会です。

入場料 無料  
主催 松本由美子  
後援 楽器センター金沢  
連絡先 松本由美子

☎〇七六七(五三)七〇六八

### ピアノ&ドリマトーン コンサート

九月十六日(日)

開場 午後十二時三十分〜  
開演 午後一時〜

二年に一度の割合で発表会を開催し、今回で第四回目を迎えます。音楽性の豊かな生徒が一人でも多く育ってくれることを目的とし、発表会をしています。全員ピアノを習っていますが、ドリマトーンの生徒もどんどん増やしていきたいと思っています。

入場料 無料

主催 森三重子門下生

後援 中島町文化協会・㈱カワイ楽器製作所  
連絡先 森三重子  
☎〇七六七(六六)一七三八

### dolce.ピアノコンサート

九月三十日(日)

開場 午後一時〜  
開演 午後一時三十分〜

保育園児から大人までが出演するピアノ発表会です。子ども達によるハンドベルや講師演奏もあります。お気軽にご来場ください。

入場料 無料

主催 ピアノグループdolce

後援 ㈱カワイ楽器製作所七尾店  
連絡先 井藤真理  
☎〇七六七(五八)一三五五

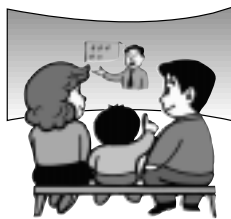
### アートホール当館主催の催し

#### 映画上映会「入場無料」

毎月第二・四土曜日  
午後二時〜

・七月十四日・二十八日、八月十一日  
「炎よ創れ」(三十四分)

・八月二十五日、九月八日・二十二日  
「日本の絵画のよさ」(二十分)



#### 「長谷川等伯展」記念講演会

九月十五日(土・祝)  
午後二時〜

演題 「長谷川派の絵師たち(仮称)」  
講師 北 春千代氏

場所 当館アートホール  
(石川県立歴史博物館副館長)  
聴講無料(展覧会は観覧料が必要です)

長谷川等伯の息子や弟子など「長谷川派」の画家やその作品について、石川県立歴史博物館副館長で長谷川等伯の研究者でもある北春千代氏にご講演いただきます。

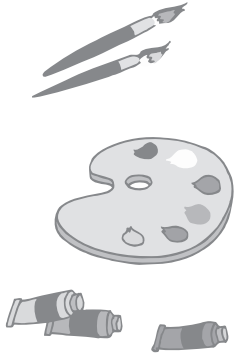
## ワークショップ報告

### 紙皿スケッチコーナー「ぼくもわたしもピカソだよ！」

四月二十日から六月三日まで四十五日間にわたって開催された「ピカソ・陶芸の世界」展では、なんと約八千人もの入館者数を記録し、観覧券や目録チラシを増刷するほど好評を博し、幕を閉じました。

その理由としては、当然「ピカソ」自身の知名度や、あまり知られていないピカソの陶芸作品を中心としたことが挙げられますが、第三展示室内に設けましたワークショップもその要因のひとつに挙げられるのではないのでしょうか。今年度はこれまで以上にワークショップに力を入れ、「みる」だけでなく「つくる」楽しみも体験できる美術館を目指そうということ、今回は展示室内で実際にピカソの作品を見ながら自分のオリジナルイラストを描くことができる、紙皿スケッチコーナー「ぼくもわたしもピカソだよ！」を設けました。

紙皿にペンや色鉛筆を使って絵を描くという、非常にシンプルなものではありませんが、実際に展示会が始まってみると、予想以上に大人気で、子どもはもちろんのこと、意外にも大人の方が夢中になっていたような気がしました(笑)。



さらに、お客様が描いた紙皿を美術館内に展示したのですが、それによってお客様に「みる」立場から、自分の作品を「みてもらう」立場も体験していただけたのではないのでしょうか。ちなみに使用された紙皿は約二六〇〇枚！そのうち展示させていただいた紙皿は一八〇五枚でした。

次のワークショップは「夏の優品展」会期中に開催します。詳しくは下記の「夏のワークショップのご案内」をご覧ください。



紙皿スケッチコーナー

「ぼくもわたしもピカソだよ！」制作風景

## 夏のワークショップのご案内

### 夏の子どもワークショップ

木彫講座「子どもアーティスト誕生！」

この夏七尾美術館では、美術鑑賞だけでなく創作活動の場として、また、ふれあい空間の場として、七尾市在住作家と子どもたちによる共同制作を行います。

指導 工芸家 滝川千春 氏

日時 八月一日(水)～八月十日(金)

各日午前九時～十一時三十分

会場 石川県七尾美術館

芸術とやすらぎの広場(屋外)

参加費 無料

(材料等、美術館で準備いたします。)

対象 小学校四・五・六年生、中学生

土・日以外 連日参加できる方

(土・日は自由参加。八月六日

(月)は休館日のためお休みです。)

定員 二十五名

事前にお申し込みください。

定員になり次第締め切らせて

いただきます。

日展作家と直に接する貴重な機会です。

是非ご参加ください！

お申し込み・お問い合わせは…

石川県七尾美術館

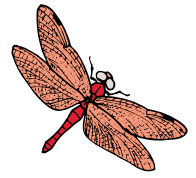
夏の子どもワークショップ係

☎〇七六七(五三)一五〇〇





# 秋の展覧会予定



第1・2・3展示室

## 「2001 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」

9月29日(土)～10月28日(日)

会期中無休

本展は毎年イタリアの古都ボローニャで開催されている世界規模の国際絵本原画コンクール入選作品によるもので、世界各国を巡回している展覧会です。

今年は日本人14名を含むフィクション部門の入賞者92名の作品458点と特別展示10点、及びノンフィクション部門で入賞した日本人2名の作品10点を展示します。

毎年審査員が変わるため、昨年のはちょっと違ったタイプの作品も多く、子どもから大人まで充分お楽しみいただけます。

また毎年恒例となりました子どもワークショップ「かんたん絵本をつくろうよ!」や「子ども映画上映会」なども開催します!お楽しみに!!

第1・2展示室

- 加賀藩の御抱絵師 -

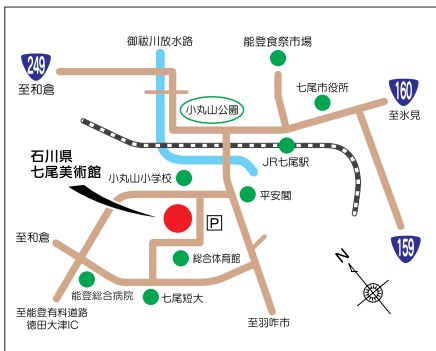
## 「佐々木泉景・泉玄・泉龍展」

11月9日(金)～12月24日(月)

佐々木泉景は、安永2年(1773)大聖寺に生まれ、江戸後期から末期にかけて活躍した狩野派の画家で、加賀藩の御抱絵師として多くの仕事を手掛けました。

また、多くの門人を輩出し、息子たちも加賀藩の御用をつとめるなど、加賀百万石御用絵師の中でも欠かせない存在といえます。

本展では、泉景と長男の泉玄、次男の泉龍の屏風や軸など約15点を紹介いたします。



### 交通案内

車.....金沢より能登有料道路  
利用約1時間30分

タクシー...JR七尾駅より約5分

徒歩.....JR七尾駅より約20分

市内循環バス...JR七尾駅より西回りに  
(まりん号) 乗車約6分

### 休館日のお知らせ

(7月～9月)

7月 2～6、9、16、23、30

8月 6、13、20～24

9月 25～28

次号・第27号(秋号)は10月1日発行予定です。